…… 学校教育目標 ……

夢に向かって 自ら学び 共に高め合う 朱七の子

令和８年１０月吉日
京都市立朱雀第七小学校
校　長　　南　宏樹

朱七だより

令和8年度
臨時号①

７月に行いました学校づくりアンケートに多数ご協力をいただき、ありがとうございました。

保護者の皆様からたくさんの回答をいただきました。この臨時号では、保護者アンケート・児童アンケート・教職員アンケートの結果を合わせてお知らせします。結果をもとに、学校・家庭・地域が今まで以上に連携しながら、さらに子どもたちを育む今後の学校づくりに生かしていきたいと思っております。

たくさんのご回答ありがとうございました

児童アンケート、保護者アンケート、教職員アンケートそれぞれの質問項目の関連性を考慮し、児童の自己評価から見られる様子に対して家庭と学校がどのように感じており、どのように関わっていくとよいかについて分析いたしました。それぞれの質問について、「4 よくあてはまる」「3 だいたいあてはまる」を肯定的な意見として捉え、「2 あまりあてはまらない」「1 あてはまらない」を改善が必要な点として見つめ、今後の教育活動をよりよくしていくための指標としています。各アンケート結果をもとに分析したことをお届けいたします。

◎「自分や人を大切にする心」が育っています

「自分や人を大切にしている（育っている）」という設問に対して、児童 95.0%、保護者 94.0%、教職員 90.5%と三者とも肯定的な意見が非常に多い結果となりました。

本校では「夢に向かって 自ら学び 共に高め合う 朱七の子」を学校教育目標とし、互いを認め合い、支え合う仲間づくりを大切にしています。

授業中に友達の意見を最後まで聞こうとする姿、困っている友達にやさしく声をかける姿、高学年が低学年を思いやって行動する姿など、日常の様々な場面にその成果が見られます。また、この項目は児童・保護者・教職員の評価がほぼ一致しており、学校だけでなく家庭でも子どもたちの成長が実感されていることがわかります。

これは一朝一夕に身に付く力ではありません。各ご家庭でのお声がけや地域の皆様との関わりの中で育まれてきた力でもあると考えています。

今後さらに伸ばしていくために、学校では道徳教育や人権学習の充実、互いのよさを認め合う学級づくり、自己肯定感を高める取組を継続していきたいと思います。ご家庭でも、子どものがんばりや成長を具体的に認めたり、家族の会話の中で相手の気持ちを考える機会をつくったり、家庭内で「ありがとう」を積極的に伝え合ったりすることを心がけていただけますと幸いです。

◎「学校が楽しい」と感じています

「学校は楽しい（楽しく学校に行っている）」という設問に対して、児童 80.3%、保護者 91.5%、教職員 100%が肯定的な回答でした。多くの児童が学校生活を前向きに捉えていることがわかります。

授業で友達と学び合うこと、行事に取り組むこと、係活動や委員会活動などで活躍することなど、学校には子どもたちが成長を実感できる機会がたくさんあります。保護者の方の評価が高いことからも、お子さまが家庭で学校の出来事を話したり、前向きに登校したりしている様子がうかがえます。

一方で、児童の肯定的評価は約８割であり、すべての児童が十分に安心感や満足感をもてているとは言えません。学校生活の中には学習面や友人関係などで悩みを抱えている子どももいることを忘れてはならないと考えています。

学校では、一人ひとりの居場所をつくり、子どもたちの声を生かした学級経営を実践するとともに、教育相談の充実や子どもの活躍場面を増やす取組を進めていきたいと思います。ご家庭では、日常的に学校の出来事を話していただいたり、努力や挑戦する姿を認めていただいたり、子どもたちの小さな変化を大切にしていただけますと幸いです。学校と家庭が連携して子どもたちの心を支えていけますよう、ご協力よろしくお願いいたします。

☆読書習慣の充実を！

「進んで本を読んでいる」という設問に対して、児童 76.9%、保護者 62.6%、教職員 81.0%という結果でした。今回のアンケートの中でも特に課題として見えてきた項目です。

学校では朝読書や図書室の利用を進めているため、教職員からみると一定の成果が感じられています。しかし、保護者の方の評価は６割台にとどまっており、家庭で読書をする習慣までは十分につながっていないことが考えられます。

近年では、子どもたちを取り巻く環境が大きく変化しています。そのような中で、読書時間を確保することは簡単ではありません。しかし読書は、語彙力や読解力だけでなく、考える力や想像する力、人の気持ちを理解する力を育てる上でも重要です。

学校では、朝読書の充実や図書室の環境整備、本の紹介活動や読書イベントの実施などに取り組んでいきたいと思います。ご家庭でも、テレビやゲームの時間を見直したり、親子で一緒に本を読んだり、短時間でも読書タイムを設けたりなどのご協力をお願いいたします。

☆自分から積極的なあいさつを！

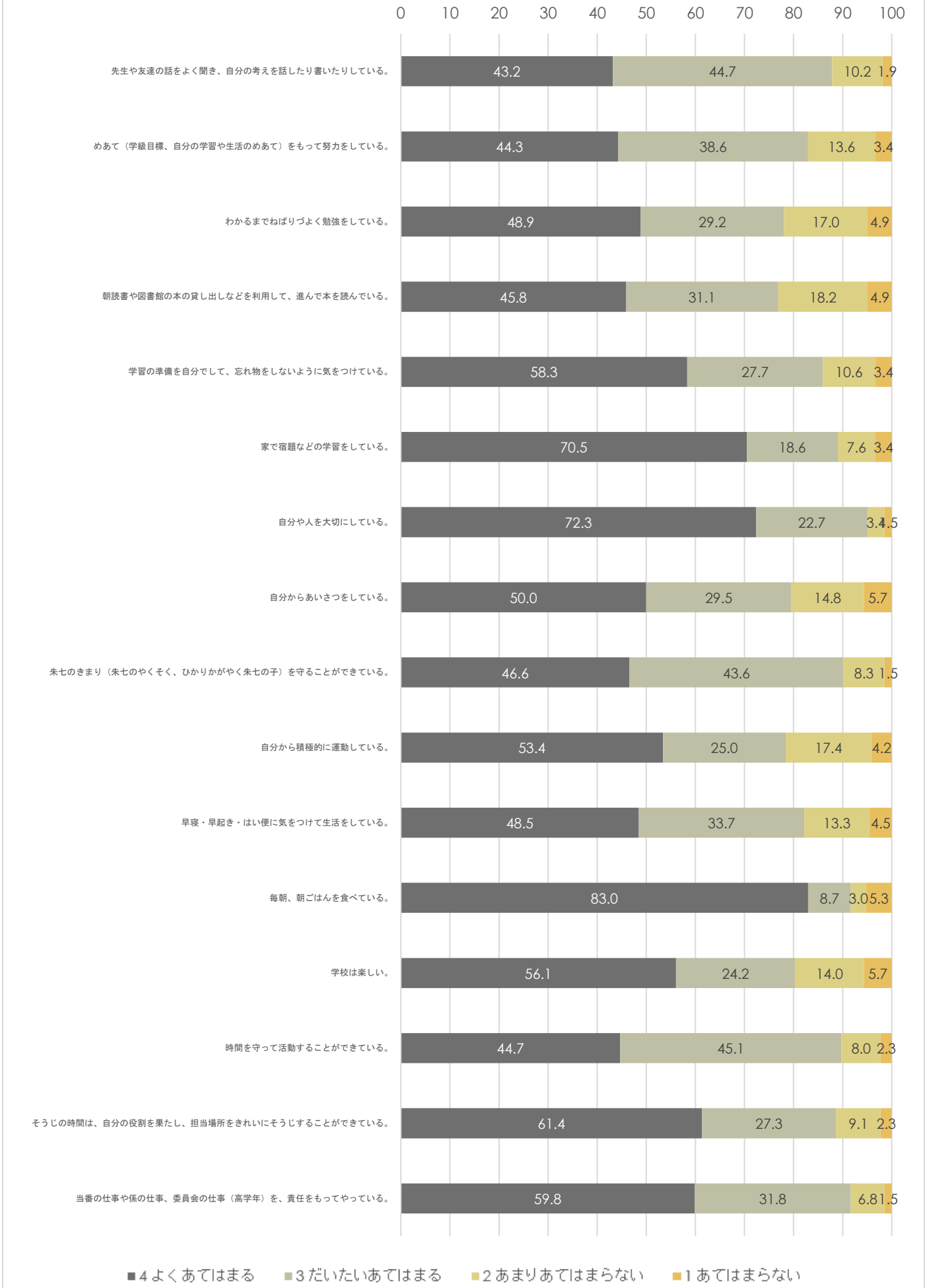
「あいさつ」に関する設問では、児童 79.5%、保護者 74.7%、教職員 57.1%という回答でした。今回、最も三者の差が大きかった項目です。

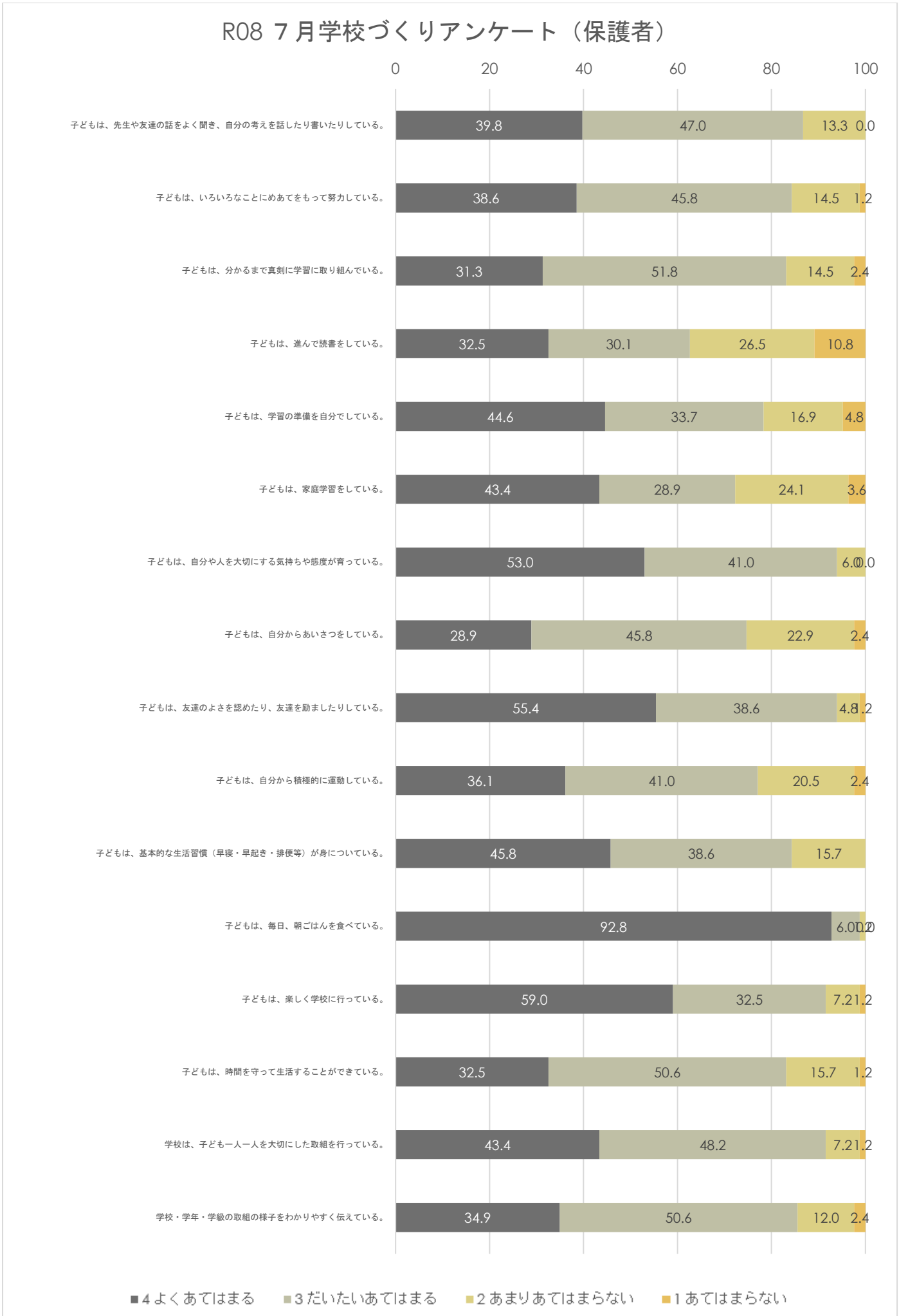
児童自身は「あいさつできている」と感じている一方で、教職員は自分から進んでできている児童はまだ十分ではないと感じています。これは、あいさつの量ではなく、「自分から先に」「相手に伝わる声で」「誰に対しても」という質の部分に課題があることを示していると考えられます。

あいさつは、人と人とをつなぐ第一歩です。社会に出ても必要となる重要な力であり、本校としても引き続き重点的に取り組んでいきたいと考えています。

学校では、あいさつ運動を継続し、教職員から積極的に声をかけるとともに、よいあいさつを価値付けていきたいと思います。ご家庭におきましても、朝の「おはよう」や外出時の「いってきます」、帰宅時の「ただいま」など、日常のあいさつを大切にしていただけますと幸いです。大人が率先して挨拶をすることが、子どもたちの姿につながると考えていますので、ご協力よろしくお願いいたします。

R08 ７月学校づくりアンケート（児童）




R08 ７月学校づくりアンケート（保護者）
0
20
40
60
80
100
子どもは、先生や友達の話をよく聞き、自分の考えを話したり書いたりしている。
39.8
47.0
13.3
0.0
子どもは、いろいろなことにめあてをもって努力している。
38.6
45.8
14.5
1.2
子どもは、分かるまで真剣に学習に取り組んでいる。
31.3
51.8
14.5
2.4
子どもは、進んで読書をしている。
32.5
30.1
26.5
10.8
子どもは、学習の準備を自分でしている。
44.6
33.7
16.9
4.8
子どもは、家庭学習をしている。
43.4
28.9
24.1
3.6
子どもは、自分や人を大切にする気持ちや態度が育っている。
53.0
41.0
6.0
0.0
子どもは、自分からあいさつをしている。
28.9
45.8
22.9
2.4
子どもは、友達のよさを認めたり、友達を励ましたりしている。
55.4
38.6
4.8
1.2
子どもは、自分から積極的に運動している。
36.1
41.0
20.5
2.4
子どもは、基本的な生活習慣（早寝・早起き・排便等）が身についている。
45.8
38.6
15.7
子どもは、毎日、朝ごはんを食べている。
92.8
6.0
1.2
子どもは、楽しく学校に行っている。
59.0
32.5
7.2
1.2
子どもは、時間を守って生活することができている。
32.5
50.6
15.7
1.2
学校は、子ども一人一人を大切にした取組を行っている。
43.4
48.2
7.2
1.2
学校・学年・学級の取組の様子をわかりやすく伝えている。
34.9
50.6
12.0
2.4
■4 よくあてはまる
■3 だいたいあてはまる
■2 あまりあてはまらない
■1 あてはまらない

R08 ７月学校づくりアンケート（教職員）

